

平成27年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小・中学校教科教育コース
生活科学教育専修

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

あなたが学んできた高等学校家庭科の「家庭基礎」、「家庭総合」及び「生活技術」の各科目は、総授業時間のうち半分以上を実験・実習に割り当てることになっています。実験・実習には、調査・研究、観察・見学も含む実践的・体験的な学習活動が含まれ、この事は家庭科の大きな特色です。

あなたが家庭科の教員になった時、どのような実験・実習を取り上げ、それで児童生徒に何を学ばせたいか、具体例を示しながら600字以上、800字以内で述べなさい。

平成27年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小・中学校教科教育コース
生活科学教育専修

出題の意図

この小論文は、入学後に取得する免許教科（家庭科）の特徴的な学びについての意義を問う問題である。教育学部学校教育教員養成課程共通のアドミッションポリシーに示す「教育という営みの本質を学びつつ」「教員として子ども及び社会と深くかかわっていきたい」「教育の理念と実践を広く深く学ぶ意欲」を持った人材であるかどうかについて確認したい。更に教科に関する基本的知識や家庭科教員への意欲、論理性や分析力を含めた基礎的文章力を総合的に評価する。